

単元名	【旧】まどを ひらいて ーまどから こんにちはー(工作)	配当時間	5時間
単元の目標	(1) 思い付いた窓の形をつくるために、用具や材料の使い方を工夫することができる。 (2) 楽しくなるような窓の形を思い付いたり、窓から見えるものを考えることができる。 友人と 作品を見せ合い、窓の形や家の様子の面白さを感じることができる。 (3) カッターナイフを使って窓のある家をつくることに取り組もうとする。		

標準的な展開例

02080306_001

【準備等】色画用紙、画用紙、カッターナイフ、カッターマット、サインペン、クレヨン、パス、色鉛筆、はさみ、のり、作品カード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 カッターナイフの安全な使い方を知る。 ○カッターナイフを使い、安全な使い方に気を付けながら練習用の紙を切る。 ・刃の出し方、しまい方 ・持ち方 ・手の置き方 ・切り方 ★カッターナイフを使って窓のある楽しい家をつくろう ○窓の形や、窓の中に何が見えると楽しいかを考える。 ・窓の形…四角、三角、丸 ・窓の中…家族、動物、友達、魚、虫 2～5 家や窓の形、窓の開き方や窓の中に見えるものを工夫してつくる。 ○紙を折り、切って家や窓の形をつくる。(活用) ・全体の形や色 ・窓の開き方 ○建物の内側をつくる。 ・窓の中の様子 ○家をいくつかつなげたり、家の周りの様子や中の様子などをつくったりする。 ○作品カードを書く。 ・建物の形 ・窓の開き方 ・窓の中の工夫 ○友達の作品の工夫したところなどを話し合う。(言語活動)	・教科書1・2下 P.26, 27 ・教科書のカッターナイフの使い方(P.17, P.40～41)を参考に、実際に使わせながら指導する。 ・カッターナイフで切るときには、切る紙を回して方向を変え、常に手前に縦方向に切るように指導する。 ・教科書の作品やつくり方の図を参考にし、どんなものをつくりたいか考えさせる。 ・児童の様々な考えを取り上げ、つくる参考にさせる。 ・窓の形や開き方などのアイデアをかかせたり黒板にかいて発表させたりする。 ・絵をかいたり、窓を切り抜いたりするときは紙を開いて平面にしてから行わせる。 ・窓を開けるときには、折るところを先の細いものなどでなぞらせてから折ると折りやすい ・建物の内側を外側に重ねて、鉛筆で窓の形をなぞらせる。 ・中に見えるものは、窓の大きさや形に合うようにかかせる。 【評】作品を通して、カッターナイフを正しく扱い、窓の形や開き方、家の形や装飾などを工夫してつくる「創造的な技能」を評価する ・町のようにしたり、台紙にのせて人や木や動物、車などの周りの様子をつくったり、家の中の様子をつくるなど、一つの家から発展させる。 ・作品カードを書き、鑑賞の参考にさせる。 ・窓の形や開き方、窓の中に見えるものなどを中心に友達の作品のよいところに気付かせる 【評】話し合いの活動を通して、窓の形や開き方、窓の中に見えるものなどの面白さやよさを感じる「鑑賞の能力」を評価する。

【 備 考 】